

蓄提樹

平成29年度 第7号 7月15日発行

あなたはすてき、ほんとだよ



先日、著名な講師による講演を拝聴する機会がありました。「自己有用感を高めるといじめが減る」という主旨の内容でしたのでその一端をご紹介します。

埼玉県の有名進学校の例が紹介されていました。その学校では勉強、部活、学校行事の3つすべてにしっかり取り組まないと認められないのだそうです。なんだか厳しそうですが、そうではなく、その3つに取り組んでいると回りの友達から「がんばってるねコール」が絶えないのだとか。この高校の野球部で3年間補欠、試合出場数もまったくゼロだったのが宇宙飛行士で初の日本人管理職になった若田光一さんです。「ともかく努力していると回りから声が飛んできて、不思議とつらくなかったですね、むしろ居心地がよかったです。」とは若田さんの談。「3年間補欠から宇宙飛行士」というエピソードはモチベーションが高校時代に全く下がらないどころかむしろ大きく育ったことを物語ってはいないでしょうか。結果が良くなくても一生懸命やる人を認める雰囲気があると、そこで学ぶ生徒の心のもち方が劇的に変わります。

お話は続きます「自尊心は自分で自分のことをそう思う気持ち、余り当てにならない。自己有用感はいじめから『そうだよ』と認めてもらうことで育つ。これが大切。」とのことでした。なるほど、自分が回りから十分認められていれば「いじめ」などは思いつきもしません。このため「あったか言葉」をつかおうと呼びかけている学校は多いのですが、ていねいな言葉遣いと勘違いしている場合も見られます。「今日のから拭きそうじ、本当にがんばってたね」みたいに、友達を肯定する言葉は相手を好意的に、しかもよく見ていないと発せられません。そして、「あなたもそう思ってくれたの?」とほめられた自分も納得する内容でないと受け止めてもらえません。

私もこの講演に感化され、子供へのほめ方を再点検し始めたところです。話は変わりますが、先日「最近いいこと無くてあれも…これも」とつぶやく友人に「そろそろすごくいいことがある前触れかも」というとその人の表情がぱっと明るくなるのがわかりました。あったか言葉にくらべるといくぶん「はったり」気味ですが、言葉には侮れないパワーがあるようです。

さて、東五位っ子の長所は「小さい子の世話が無意識にできる」「リーダーになれる」「興味のある活動に目が輝く」「体力がある」「よく食べて外で遊ぶ」「学校を休まない」等でしょうか。これらの点は、私たちの目から見てもなかなかの美点です。東五位っ子たちに「あなたはすてき、ほんとだよ」を伝え、子供たち自身も伝え合えるようになるため、2学期以降も教育活動を工夫していきたいと思えます。

プログラミング ノ ススメ

情報教育担当教諭



先日、電気店で冷蔵庫の前面がタブレットのように液晶画面になったものがあることに驚かされました。画面からインターネットに接続し、現在保管してある食材からお勧めの料理やそのレシピを紹介できるそうです。今後、あらゆる電化製品にコンピュータと情報通信が搭載されるようになります。製品やサービスはすべてコンピュータを通じて出先からでも使用者の指示を受け取れるようになるのです。そして、それらの機器は動かすプログラムなしでは成り立たなくなってきています。これまでは「専門的な誰か」がやってくれていたプログラミングですが、社会に出る上で必要な技術になるかもしれません。今、国で2020年度から小学校でプログラミング教育が実施できないかという検討が行われています。



つい近年まで、小学校で、それもネイティブな発音で外国語を教えることは考えられませんでした。それが、グローバル社会で英語が世界言語として使われるようになったことで小学校での外国語科が正式に始まることになりました。プログラミングも似ています。幼い頃からプログラミングの論理的な思考に触れた経験は理数への苦手意識を抑えることでしょう。それは、日本の高い学力やものの想像力をしっかり維持していくことにもつながります。また、大人になってから始めるより原理の理解が早く進み、知識も早く身に付くことになります。私たち大人にも、プログラミングの基礎知識は仕事の能率を改善する上でずいぶん役立つとか。書店には、先行してやさしいプログラミングに関する本がすでに出始めているようです。夏休み、お子さんと一緒にそっと「先行して」手にとってみては、いかがでしょうか。

プチ学校ニュース

P T A 学校クリーン作戦・資源回収にご協力をお願いします

8月27日(日) AM6:30からP T A学校クリーン作戦が予定されています。夏休み最後の日曜日ですが、2学期を気持ちよい環境でスタートできるよう除草や美化活動にご協力をお願いいたします。なお、今年から開始前の6:00~6:30、資源回収も実施しています。新聞や雑誌、アルミ缶など手に持てる少量でも結構です。お子さんと一緒に参加され、エコ活動の体験をされてはいかがでしょうか。



白い水泳帽を準備



水泳学習を行う時や夏休みのプール開放中、保健衛生の観点から、水泳帽がない場合は原則、入泳を認めていません。ですが、健康で体調が良く、保護者の方も入水を了承されている場合に備え、職員室で貸し出し用の白い水泳帽を少し準備します。(夏休み開始頃の予定です、数に限りがあります)もし水泳帽を忘れた場合は、職員室に申し出るようお子さんに伝えてください。現在「白」を使っている学年は無いので、もし水泳セットに混じっていたら洗濯され、学校に返して下さるようお願いいたします。

安全感謝の集い

7月6日、日ごろ、子供たちの登下校や安全を見守ってくださっている安全パトロール隊や各種団体の皆さんをご招待し、「安全感謝の集い」が開催されました。当日は各自治会や団体から36名ものご参加をいただき、児童代表の感謝の言葉や呼びかけ、ゲーム、手作りうちわ渡しなどで日ごろのご尽力に感謝を表しました。



当日も一緒に下校していただき、子供たちの顔の見える安全環境づくりをいただき感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

